

はぐるま

平成30年9月発行 96号

目次

- ・協和中央病院グループ連携マップ—2
- ・地域包括ケアシステムと当院の役割 —3
- ・診療科紹介 —3
- ・看護部だより —5
- ・看護部だより —6
- ・恒貴会日帰りバス旅行—6
- ・恒徳会だより —7
- ・外来診察担当医表／編集後記 —8

一次救命処置 (BLS:Basic Life Support) 研修

BLS研修は院内スタッフが「緊急時の応援要請方法をはじめ、救急蘇生法、AEDの使い方を学び、どんな状況下でも急変に対して迅速に対応できるように」を目的として年に1回行っています。

急変はいつどこで起こるかわかりません。病院内で決めたルールをスタッフ全員が把握・理解することで、誰でも急変の早期対応ができる病院を目指して、今後も取り組んで行きたいと思います。(外来看護科 エキスパートナース 三橋 玲子)



一次救命処置とは、呼吸が止まり、心臓も動いていないと見られる人の救命へのチャンスを維持するため、特殊な器具や医薬品を用いずに行う救命処置です。

協和中央病院グループ連携マップ



協和中央病院

医療福祉支援相談室



(医療福祉相談担当・居宅介護支援事業)

加齢や病気、障害によって、生活していく上で、心配なことや困ったことが生じることがあります。そのような療養生活にともなう、不安や悩みの相談に応じ、患者様・ご家族と一緒に考え、解決へのお手伝いをいたします。



16診療科目・199床
外来≒450人/日
健康医学管理センター
(人間ドック・企業健診)

脳神経外科・内科・呼吸器科・外科・消化器科・整形外科など16診療科の外来診療を行い、地域のリハビリテーション医療においても重要な役割を担っており、さらには疾病の予防や健康増進にも積極的に取り組み、健診・人間ドック等を含め幅広い医療サービスを提供しています。入院については一般病床199床（地域包括ケア病床34床を含む）の病院です。「地域包括ケア病床」とは、入院治療後、病状が安定した患者様に対して、リハビリや退院支援など、効率的かつ密度の高い医療を提供するために、厳しい施設基準をクリアし、国から許可を受けた「在宅復帰支援のための病床」です。

協和南病院



長期療養 医療型療養病床109床
リハビリテーション

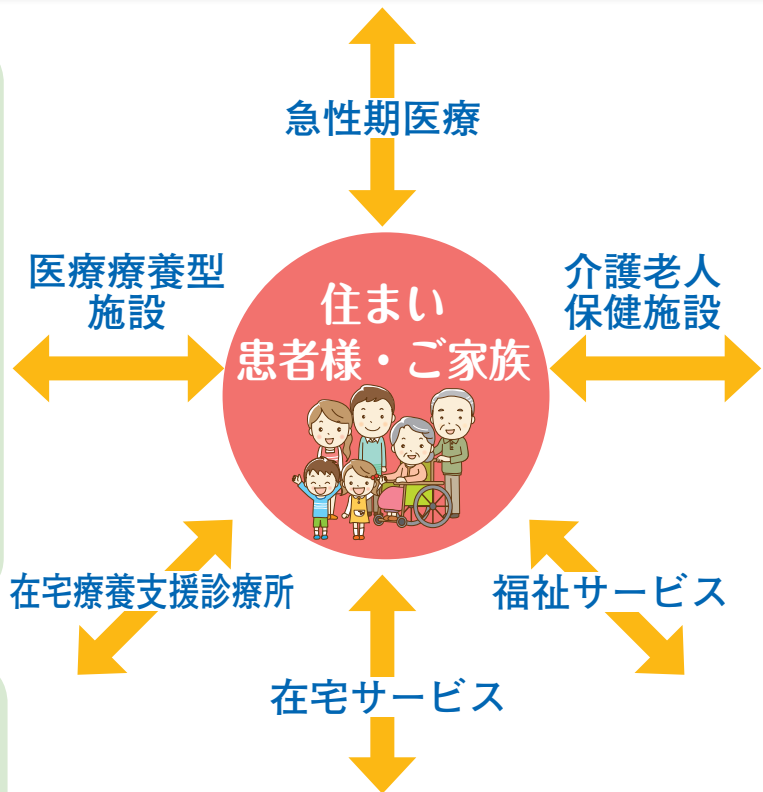
個々の患者様の病態に応じた医療環境を整備し、リハビリテーションはもとより、認知症ターミナル、在宅復帰への支援をスタッフ一丸となり提供しております。当院では、神経難病の患者様も安心して療養できる環境が整っています。

大和クリニック



外来・在宅診療 臨床教育研修施設

日常的な健康相談・職場検診から、診察室で病気の治療、患者様のお宅へ赴いての訪問診療を行っております。訪問診療は自由に動けない患者様からは大変喜ばれております。



訪問看護ステーション 愛美園

訪問看護事業 訪問リハビリテーション
居宅介護支援事業所



病気やけがなどで寝たきりになる心配のある方、脳卒中の後遺症などでリハビリが必要な方、認知症や精神的に不安のある方、医療処置が必要な方などがご利用いただけます。訪問看護では、一人ひとりの自立に向けた援助を笑顔とやさしさでお届けします。

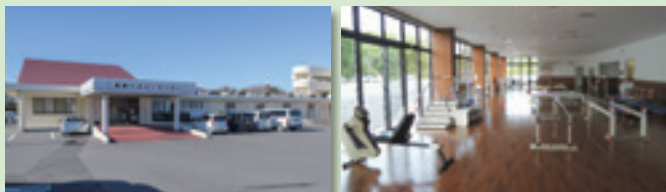
リハビリテーション



地域リハ広域支援センター 地域リハ・ステーション
(理学療法、作業療法、言語聴覚療法)
通所リハビリテーション 60人/日

協和中央病院グループのリハビリテーションは急性期から生活期に対応する包括的かつ継続的リハビリテーションを提供するとともに、地域の人々の健康とQOL向上のための支援を行います。

協和ヘルシーセンター



入所100床 短期入所療養介護
通所リハビリテーション100人/日
訪問リハビリテーション/居宅介護支援事業所

日常生活面などの介護を必要としているお年寄りの方に、身体・精神機能の回復訓練や看護・介護サービスを提供し、自立への支援を行う施設です。住み慣れたご家庭での療養は理想とされていますが、要介護老人を抱えたご家族の肉体的・精神的負担は過酷なケースもあります。また、居宅で療養をなさっている方々には、短期入所・通所リハビリ等のサービスの提供を行っています。

社会福祉法人 恒徳会

すみれ園



障害者支援施設

桃香園 (とうかえん)



障害者支援施設

菫授園 (きんじゅえん)



障害者支援施設

恒幸園 (こうこうえん)



新型特別養護老人ホーム

地域包括ケアシステム と当院の役割



協和中央病院 院長 黒川 徳一

急速に高齢化が進んでいる県西地域において、地域包括ケアシステムの中の当院の役割を考えてみました。医療に関しては、第1に2次救急対応の充実が必要であり、10月に開院される西部メディカルセンターと連携させていただきながら、脳卒中や心不全などの救急車の受け入れを増やしたいと考えております。第2に地域包括ケア病床の増床と機能の充実。これは必要度・重要度の高い認知症、心不全、脳卒中、腰椎圧迫骨折や大腿骨頸部骨折などの外傷などの患者さんが多いことを念頭に、大和クリニックや愛美園、かかりつけ医の先生方と連携させていただき、在宅療養と入院治療の円滑な協働を行いたいと思っています。第3に疾病の悪化予防についての支援・援助。認知症、心不全やフレイルの方の短期入院などでのリハビリやオーラルフレイルに対する摂食嚥下機能評価・訓練などを想定しています。

地域に必要なとされる病院をめざして職員一同努力してまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

各診療科紹介

脳神経外科

副院長
脳神経外科部長 長 弘之



当科では常勤医師3名と非常勤医師2名で診療を行っています。脳卒中、頭部外傷、てんかん、めまいなどの症例が多く、特に脳卒中は年間250例前後の入院があります。そのうち約3分の2が脳梗塞で、発症4.5時間以内であればtPAという強力な血栓溶解剤を使用して麻痺や言語障害が劇的に改善する例も増えています。さらに8時間以内であればカテーテルによる治療も可能で、筑波大や自治医大とも連携して治療を行っています。脳卒中は後遺症が残る場合も少なくありませんが、包括支援病室を利用して急性期から回復期リハビリまで一連の流れで治療を行うことができます。

内科

副院長 内科部長
筑波大学附属病院臨床教授
玉野 雅裕



当院の内科は専門科として、循環器、消化器、呼吸器、糖尿病内分泌代謝、神経内科、睡眠呼吸障害を配置し、それぞれのエキスパートが適切な診療により各臓器の疾患を回復に導くよう努力しております。さらに当科の特徴として、内科疾患全般を総合的に診療し、患者様をトータルに健全な状態に維持する一般内科(総合内科)部門が充実している点があげられます。健康は各臓器がバランスよくその機能を発揮することによりもたらされます。当科は専門科、一般内科が協調して皆様の疾患回復、健康維持を目標にスタッフ丸となって努力してまいります。

4ページへ続く ➡

外科 外科医長 田中 元樹



当科は常勤医師2名、非常勤医師3名の計5名で診療にあたっております。少ない人数ですが、科の特性上生死に関わる病気も多いため可能な限り迅速な対応を心がけて日々診療にあたっております。鼠径ヘルニア、虫垂炎、内痔核、胆石、下肢静脈瘤などの良性疾患をはじめ、胃癌、大腸癌などの悪性疾患も積極的に手術しております。また近年では高齢化も進み、さまざまな合併症を持つ患者様も多いため、状態を考慮しその患者様に合った治療を提供できたらと思っております。皆様のお役にたてるよう、地域の医療に貢献したいと思っております。

整形外科 整形外科部長 藤田 聡



常勤医1名と非常勤医2名の計3名で診療にあたっております。当科は、四肢脊椎を中心とした運動器の疾患および外傷を対象としています。代表的な外傷としては、高齢者の転倒による大腿骨近位部骨折や手関節周囲の骨折、日常生活動作でも生じうる脊椎圧迫骨折などがあります。その他、労働災害、交通外傷、若年者のスポーツ外傷と多岐にわたります。一方、脊椎での神経圧迫により四肢のしびれや痛みを生じる脊椎疾患、関節軟骨の摩耗により関節痛を生じる変形性関節症など慢性疾患で受診される方も多いためです。手術治療において、より機能回復を見込める場合には手術を検討します。年間約300例の手術治療を行っております。術後早期からのリハビリにより、早期退院早期社会復帰をめざします。

小児科 佐藤 雄也



小児科は0歳から中学生までの内科を担当しています。状態が悪いときは午前の受診をお勧めします。一般診療の他、火曜日と水曜日は発達・てんかん・神経疾患など専門的診療に対応しています。その他の診療日には獨協医科大学小児科、自治医科大学小児科の医師が担当します。各医師の専門分野については小児科外来にお問い合わせください。入院が必要な場合は、近隣の子どもの入院が可能な病院に紹介いたします。専門治療が必要な場合は大学病院へご紹介いたします。乳児健診・予防接種にも対応しております。外来へお電話にて予約願います。

眼科 高山 良



当科外来では、毎週火曜日（午前・午後）と水曜日（午前）と木曜日（午前・午後）と金曜日（午前）に非常勤医師3名とともに常時1名の看護師と視機能訓練士が診療を行っております。入院診療としまして主に白内障手術を片眼ずつ1泊2日の入院で行っております。また、増殖糖尿病網膜症、黄斑前膜、黄斑円孔などの網膜硝子体疾患の手術加療も行っております。加齢黄斑変性症、黄斑浮腫に対する硝子体注射治療にも対応しております。それぞれの患者様に最善の治療を心がけております。スタッフ一同、ご来院をお待ちしております。

皮膚科 金井 美馬

当院皮膚科では火曜日と金曜日に非常勤医師2名で診療を行っております。皮膚は人体最大の臓器であり、また内臓の働きを知る鏡でもあります。湿疹、かぶれ（接触皮膚炎）、水虫（白癬）、いぼ（疣贅）、ほくろ、にきび、しみなど皮膚に気になる症状、トラブルがありましたら遠慮なくご相談ください。老若男女問わず、患者様の皮膚疾患に合わせてより良い治療が行えるよう心がけてまいりますのでよろしくお願いいたします。

泌尿器科 幸 英夫



泌尿器科というどのようなイメージをお持ちでしょうか？一般の方は排尿や性病などのイメージが強いと思われます。確かにそのような患者様もたくさんおられますが、それ以外の病気にも関わっております。副腎（重要なホルモン生成）、腎（尿の生成）、尿路（腎盂、尿管、膀胱、尿道）、前立腺（精液生成）、性病、精巣に関する治療（特に外科的治療）を得意としている診療科です。現在、常勤医がおらず、ご迷惑をおかけしておりますが、今後も地域医療に貢献していきますので、どうかよろしく願います。

麻酔科・ペインクリニック内科（痛みの外来）



麻酔科医長 衣川 朋一
当科では、常勤医師2名、非常勤医師1名の計3名体制で毎週水曜日の午前に診療を行っております。ペインクリニックは『痛み』に対して診断診療を行う診療科です。さまざまな痛みに対して治療を行います。その一番の大きな特色は神経ブロックによる治療となります。神経ブロックとは、痛みを伝える知覚神経や交感神経に局所麻酔薬等を注射することで痛みを鎮める治療法です。複数回施行することで、血行の改善、炎症の緩和等もあり治療していきます。副作用に関しても重篤なことが起こることはほとんどありません。皆様のお役にたてるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと考えております。

放射線科 放射線科部長 阿武 泉



病気の診断に対する画像診断の役割は大きいものがあります。病気の診断のみならず、病変の範囲、進行度、外科的な治療範囲の決定に欠くべからざる手段となり、ますます重要度が増しているのではないかと思います。当院ではMRI 2台（1.5T, 3T）と32列の多列検出器CTが導入されていますがCTに関しては12年余り使用し老朽化が目立ち、周辺の施設に対しても見劣りするようになってきました。さらにメンテナンスにも不安が生じるようになった結果、今秋256列の検出器を有する最新式のCTを導入することが決定されました。今までは、ほぼ不可能であった心臓のCT検査が可能となり高齢化に対応した虚血性心疾患の診断にも貢献できると思われまます。さらに脳動脈瘤の詳細な診断、閉塞性動脈疾患の診断にも今まで以上に有効と考えられます。一方、放射線診断では昨今マスコミを騒がせているように、見落とし、臨床医との連携の不手際が問題視されています。この問題に対しては画像診断のシステムの見直し、医師間のコミュニケーション、風通しの改善にもさらなる努力が必要なことは痛感しています。当院規模の民間病院で常勤の放射線科医のいる病院は少なく、より良い医療施設、地域医療に貢献できるようさらなる努力に邁進して行きたいと思っております。

歯科・歯科口腔外科 歯科医長 串田 淳子



「口腔は健康の門」と言われておりますが、私たちの診療科では日々、顎顔面領域の多様な疾患に対応しております。自治医科大学歯科口腔外科講座の関連施設としてより専門性の高い医療を提供すべくスタッフ一同努めております。また超高齢化社会を迎え、オーラルフレイルや口腔機能低下症といった言葉がクローズアップされてきました。口腔乾燥症や嚥下機能の低下といった口腔の衰えが誤嚥性肺炎につながります。私たちは皆様の「美味しく食べて健康長寿」を地域の先生方と連携して取り組んでいきたいと思っております。

看護部だより

看護補助者研修を実施して



協和中央病院
南2階病棟
看護係長

飯村 真由美

地域急性期医療を担う当院では、質の良い看護を提供するために『急性期看護補助体制加算』を算定しております。看護業務を補助する『看護補助者』を病棟に配置し、看護補助者には日々の業務を安全に実施できるよう、年1回『看護補助者研修』を実施しております。今年も7月に(株)ユニ・チャームによる「快適なオムツの当て方」、各病棟係長による医療安全と感染対策、効果的な体位変換・食事援助・行動制限など動画や講義・演習を実施しました。研修後のアンケートからは、毎日当たり前のように行っていることだが、自分たちの業務の意義や大切さを再確認できたとの感想が多く聞かれました。今後も切磋琢磨しながら看護師と看護補助者の両輪でより良い看護の提供に努めていきたいと思っております。



研修受講中



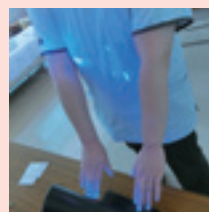
車椅子乗車の除圧の仕方



協和中央病院
北2階病棟
エキスパート介護士
(介護福祉士)

渡辺 秀喜

今回の研修では、体位変換、車椅子乗車などを自分自身で体験することにより、患者様の立場になって看護することの大切さを改めて感じることができました。当院でも急性期の入院医療において患者様の高齢化にともない看護補助業務の重要性が増し、安全で質の高いサービスを効率的に提供するには、看護チームと情報を共有し適切に協働することが不可欠なことが改めて実感することができました。今後も研修を活かして看護チームの一員として自覚と責任感を持ち、より良い看護の提供に努めていきたいと思っております。



手洗いチェック



Bed Upの方法

新人看護職リフレッシュ研修『なごみ会』



協和中央病院
新館3階病棟
看護副係長

稲葉 未希

平成30年6月13日(水)に新人看護職リフレッシュ研修『なごみ会』を開催いたしました。入社して3ヶ月、毎日一生懸命頑張っている新人看護師に心身のリフレッシュと、同期や他病棟の看護師とのコミュニケーションを図る目的で毎年開催しています。昨年度は飾り巻き寿司を作り、可愛いパンダの巻き寿司を作成しました。今年度は講師に地元の宮田先生をお招きし、そば打ち体験を行いました。先生の打ったそばをいただき、それを目標に皆で協力して行いました。こねる・伸ばす作業は思ったより力の必要な作業で、これまでに使用したことのないような包丁での切る作業等、作業中真剣ながらも笑顔の絶えない時間となりました。

これから仕事で失敗したり、落ち込んだりするかもしれませんが、そんなときは今日の研修を思い出し、同期や先輩看護師にアドバイスを貰いながら、皆で力を合わせ前へ進んでいってほしいと思っております。



協和中央病院
新館3階病棟
看護師

磯崎 奈々子

今回なごみ会ではそば打ちを企画していただきました。そば打ちは初めての経験で先生の指導を受けながら師長さんやプリセプターをはじめ、新人看護師で楽しい時間を過ごすことができました。一緒にひとつのものを作ることで今まで交流が少なかった他病棟の方々とも自然に会話が生まれ、親交を深める機会になりました。



職場体験 インターンシップについて

当院では毎年夏休みに、近隣の中高校生による職場体験を実施しております。医療関係の仕事に興味がある学生さんが、患者さんにもご協力いただきながら、看護体験などをしております。将来の職業選択のきっかけになっていただければ嬉しいです。

(看護部教育担当 手術看護科 看護師長 大和田 和美)

患者さんの体に優しい オープン型シャワーバスを導入しました。

今まで使用していた入浴介助機器は、入浴タイプの浴槽にストレッチャーから患者さんに移乗して使用するタイプでした。しかし、今回導入したシャワーバスは浴槽がオープンタイプになっています。ストレッチャーで寝たままシャワー浴を行えるようになりました。また、心肺にかかる負担が少なく、1台でより多くの患者さんに入浴していただくことができるようになりました。今後とも患者さんや介助するスタッフが共に安心・安全な入浴が行えるように対応していきたく考えています。(北2階病棟)



顔の肌がカサカサ、ピリピリ、体が温かくなったり、 洋服がずれると、なんだか肌がかゆいなどの経験はありますか？

皮膚には乾燥や紫外線、ほこりといった外部刺激から肌を守る「バリア機能」があります。「バリア機能」には3つの働きがあります。①水分の蒸発の抑制②水分を保つ③水分補給。乾燥してきめが粗くなった肌や敏感な肌はこの「バリア機能」が低下した状態。外部からの刺激によって、角質層の水分や皮脂量が減少し、肌荒れやカサつき、肌トラブルが起こりやすくなっています。

バリア機能を保つためには、①肌を清潔にすること②保湿が必要です。

肌の汚れを落とすには、石鹸をよく泡をたてて泡で洗ってあげることが重要です。その後、保湿クリームなどを使用すると、ある程度外部からの刺激、皮膚表面が守られます。

**季節の変わり目はお肌のトラブルが多い季節です。
お肌のことを知り、肌をトラブルから守ってあげましょう！**



協和中央病院
皮膚・排泄ケア認定看護師
副看護部長・外来看護師長
海老原 安子



恒貴会日帰りバス旅行

昨年度好評だったこともあり、平成30年度も職員間の親睦を図ることを目的に日帰りバス旅行を企画しました。本年度は5コース企画し、①鎌倉方面(6月)、②横浜中華街と工場夜景クルーズ方面(7月)、③大相撲観戦(9月)、④東京ディズニーリゾート(11月)、⑤帝国ホテル・迎賓館方面(12月)のパラエティあふれるコースを用意しました。参加予定人数も昨年度より多く、職員の関心の高さが伺えました。鎌倉と横浜方面に参加した職員からは「長谷寺のあじさいがすごく綺麗だったよ」、「工場の夜景が幻想的でした」等、普段経験することができないことができたとの声を多く聞くことができました。また役職者との交流や普段あまり接点のない職員間のコミュニケーションもとれ、やはり親睦を深める機会をつくることは必要だと感じました。まだ残りのコースがありますが楽しんでいけたらと思います。

人事課 副課長 稲見 英章



鎌倉の大仏



横浜中華街

訪問看護ステーション
愛美園所長

**中島由美子が
講師として参加**



厚生労働省関東信越厚生局主催
(平成30年9月12日開催：
さいたま新都心合同庁舎)

平成30年度 第1回看護師の特定
行為研修に係る説明会・実施計画に
講師として参加しました。

《テーマ》

看護師特定行為研修の実際3

—訪問看護ステーション管理者と
しての支援及び終了者の活用—

桃香園

納涼祭を開催しました



桃香園
生活支援員
細田 幸子

8月4日（土）に毎年恒例の納涼祭を開催しました。天候にも恵まれ、たくさんの利用者様・ご家族の皆様にご参加いただき、盛大に開催することができました。

納涼祭の前半は、通所オールスターズによる素晴らしい歌と踊りや、利用者様のカラオケ発表で大いに盛り上がり、とても楽しそうな表情で練習の成果を披露している利用者様の笑顔が多く見られました。

後半には、茨城県出身で民謡歌手の「遠井みや」さんにお越しいただき、美しい歌声で多くの民謡を披露していただきました。「磯節」をはじめ、利用者様からのリクエストをアカペラで歌っていただいたり、一緒に民謡を歌ったりと納涼祭を盛大に盛り上げてくださいました。

屋台の豊富なメニューを楽しみにしている利用者様も多く、中でも「かき氷は美味しいね。」と話される利用者様の笑顔がとても印象的でした。美味しい屋台のメニューを食べながら、カラオケや民謡を聴いて過ごす夏の夕暮れは、桃香園での夏の楽しい思い出となりました。

遠井みやさんをはじめご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



すみれ園

希望外出について



すみれ園
生活支援主任
篠崎 朝美

すみれ園では、4月から11月の期間、希望外出として、利用者様が好きな場所に外出することができます。なお、12月から3月までの期間は、利用者様の感染症予防のため、外出を自粛しています。



海ほたる



テディベアミュージアム

外出先の選定については、意思疎通が難しい利用者様もいらっしゃいますので、利用者様やご家族との日頃の関わりから得た情報等をもとに、利用者様の喜んでいただけそうな外出場所を選び、外出の提供をしています。外出場所は、茨城県内だけでなく、県外にも外出しています。コンサートや相撲観戦等、さまざまな場所に外出してきました。

利用者様からは、「楽しかった。また行きたい」等、喜びの感想を聞くことができます。これからも利用者様に喜んでもらえるような、情報の提供ができるよう、掲示板等を活用して情報の提供を続けていきたいです。

菫授園

地域貢献活動



菫授園
職業指導係長
飯田 信宏



社会福祉法人改革の一環として、「地域における公益的な取り組み」の実施に関する責務規定が創設されました。それを受けて、恒徳会では地域貢献活動としてさまざまな実践を行っています。

下館さくら祭りでは、菫授園『とんがり工房』のパン販売を行い、その売上金の一部を筑西市社会福祉協議会のボランティア基金へ寄付させていただきました。

また、門井下地区夏祭りの子ども神輿の際、すみれ園ロータリーで休憩していただき、『とんがり工房』のたくさんの種類の菓子パンを試食していただきました。子どもたちをはじめ、関係者の皆様に、大変よろこんでいただけたことを嬉しく感じています。

日頃からお世話になっている地域の方々へ、引き続き、地域の実情に合わせて、積極的に進めてまいります。



外来診療担当医表 平成30年9月

() 専門科目

診療科		月	火	水	木	金	土	
脳外科	午前	1	中原	中原	中原	中原	中原	
		2	五味	長	黒川	石下	長 黒川	
外科	午前	1	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	田中	
		2	田中	田中		田中		
●水の外科外来は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。								
内科	午前	1	玉野	玉野	玉野	川越	川越	長山
		2	川越	大内	木村	田島 (循環器)	磯田	大内
		3	福島	磯田	阿部田	福島	武井 (内分泌内科/糖尿病)	(予約)新保 (循環器内科)
		5	矢澤 (循環器)		磯田	阿治部 (消化器)	大内	
		7	曾我部 (呼吸器)	村上 (内分泌内科/糖尿病)	高崎 (呼吸器)	磯田	海老澤 (漢方外来)	
	午後 (予約のみ)	1	阿治部 (消化器)	村上 (内分泌内科/糖尿病)			小笠原 (神経内科)	
		2	齋藤 (循環器内科)					
	●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。							
	専門外来	午後	村田 (睡眠呼吸障害/予約のみ)	加藤 (漢方専門外来)				
		午前・午後 (午後予約のみ)		北川 (循環器)				
小児科	午前	獨協医大交代制	長尾	長尾	宮本	佐藤	自治医大交代制	
	午後	獨協医大交代制	長尾		宮本	佐藤		
整形外科	午前	藤田			藤田	萩原	第1、3、4、5 木村	
	●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金(第1、3、5)は大学診療のため時間前に受付終了となります。土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。							
痛みの外来	午前			佐藤				
皮膚科	午前・午後		金井			金井		
泌尿器科	午前		別納		神原		幸	
●土曜日の受付は10:30までとさせていただきます。								
眼科	午前・午後		高山	高山 午前のみ	新井・西田 交代制	高山 午後は予約のみ		
歯科 歯科口腔外科	午前・午後 (土は午前のみ)	1	串田	串田	串田	大谷津	串田	
		2	渡邊	大谷津	大谷津	岡田	大谷津	
		3			杉浦	仙名	杉山	
専門外来	午前	第2、4 神部 第3 野口				第2、4 森		

※受付時間《午前の部》

月・火・木・金 (7:30~11:30) 診療開始 9:00
 水・土 (7:30~11:00) 診療開始 9:00
 歯科・歯科口腔外科 (8:30~11:00) 診療開始 9:00

※水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。

※診察の際は、保険証をご提出ください。

《午後の部》

皮膚科・眼科 (13:00~15:30) 診療開始 14:00
 ＊眼科(木) (13:00~15:00) 診療開始 13:30
 内科 (13:00~16:30) 診療開始 14:00
 小児科 (14:30~16:30) 診療開始 15:00

歯科・歯科口腔外科 (13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

安心が地域に根ざす 医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

協和中央病院

脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科
 ・呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科
 ・小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科
 ・リハビリテーション科・麻酔科・眼科
 ・歯科・歯科口腔外科

茨城県筑西市門井1676番地1
 電話0296-57-6131(代)
 E-mail: kyowa@kokikai.com

療養病床

協和南病院

茨城県筑西市門井1674番地1
 電話0296-57-5133(代)
 E-mail: minami@kokikai.com

介護老人保健施設

協和ヘルシーセンター

茨城県筑西市門井1669番地2
 電話0296-57-6030(代)
 E-mail: healthy@kokikai.com

大和クリニック

茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-58-7788(代)
 E-mail: yamato@kokikai.com

訪問看護ステーション

愛美園

茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-20-6780(代)
 E-mail: aibien@kokikai.com



障害者支援施設

すみれ園

茨城県筑西市門井1677番地21
 電話0296-57-5125(代)
 E-mail: sumireen@kohtokukai.jp

障害者支援施設

堇 授園

茨城県筑西市門井1687番地1
 電話0296-57-3400(代)
 E-mail: kinjyuen@kohtokukai.jp

障害者支援施設

桃香園

茨城県桜川市大國玉2513番地10
 電話0296-58-7870(代)
 E-mail: tohkaen@kohtokukai.jp

新型特別養護老人ホーム

恒幸園

茨城県筑西市向川邊98番地1
 電話0296-57-7268(代)
 E-mail: koukouen@kohtokukai.jp



編集後記

今回は急性期の医療から在宅医療・介護までの一連のサービスについて、どんな時にどんなサービスを受けることができるか少しでも分かりやすくするために連携マップを作成しました。恒貴会グループが連携し、患者様のみならず、ご家族も含めて、安心して療養生活を送ることができるよう、今まで以上に努力してまいります。

また、この広報誌「はぐるま」の中でもできるだけ現在の病院や施設等の取り組みをわかりやすく伝えていければと考えておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

最後に、96号を発行するにあたりご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

(飯泉)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者／中原昇

●編集委員／相澤明美 飯泉茂徳 上野敏子 堤谷博之 杉田恵美子 野村正浩 高松紀平/猪野貴之 廣瀬俊樹